

日本共産党



For
Gender
Equality
~~~~~  
Now!

[https://www.jcp.or.jp/jcp\\_with\\_you/](https://www.jcp.or.jp/jcp_with_you/)

食事は準備は  
いつもわたし。

“女性らしい  
気配り”って何？

「早く子ども  
産んだほうがいいよ」  
って…。

入試で  
「女子だから減点」  
ってイミワかんない。

「男性どうしには  
部屋は貸せません」…。



#### BOOK

『82年生まれ、キム・ジヨン』

チョ・ナムジュ著/筑摩書房

「女性だからという理由で、卑下や暴力の対象になってはならない。女として生きること。それにもなう挫折、疲労、恐怖感。それらを当然のことに受け入れてしまっはいけない。」（本書「日本の読者の皆さんへ」より）

日常の中で感じるモヤモヤ。

その正体は、ジェンダー差別かもしれません。

#Me Too #With You ——いま世界中で、性暴力や性差別を許さないと勇気を出して声をあげる流れが広がっています。

一人ひとりの力は小さいけれど、みんなで手をつなげば、きっと変えられる。

## 誰もが自分らしく

## 生きられる未来を、共に。

個人の尊厳とジェンダー平等のための  
**JCP With You**



がまんするの、  
やめよう。

Osawa Satomi

## interview 1

大澤 里美さん  
1988年生まれ

最初にジェンダーを意識したのは5歳の頃。大好きなヒーローの真似をして「オレ」って言ったら、母にすごく怒られた。「なんでダメなの？」って訊いても「女の子だから」だけ。出席番号は男子が先、制服を着てれば痴漢に遭い、就活中はセクハラされる——おかしいと思うことだらけでした。

私にとって大きな事件のひとつは、**結婚による改姓**。20数年、一緒に過ごしてきた名前を失うショックは想像以上でした。私は友だちからはずっと名字で呼ばれてきました。名字を変えると、それと呼んでくれた人たちの歴史も消えてしまうようでつらくて。できたら、今からでも昔の姓を取り戻したい。夫婦別姓が選択できないって、おかしいと思うんです。

生活で感じる苦しみの根っこに、押しつけられた偏見や思い込みがあることに、もっと多くの人が気づいてほしい。「おかしいな」と思っても、「こんなものかな」と飲み込んだじゃう人が多い気がします。でも、がまんするの、やめよう。調べよう。そしたら仲間が見つかるはず。誰も、**一人であきらめないで**ほしい。私も、声をあげ続けます。

## 職場のジェンダー平等\_1

### セクハラ——どうしたらなくせる？

「これってセクハラかも」と思っても、「軽いいなすのが大人」「職場に波風立てるのも…」と思ってしまって、言えない。そんな経験、あなたもしていませんか？

ハラッサー本人は、悪気がないことも。でも、根底には「無自覚」な女性蔑視があります。

2019年6月、ILOは、『労働の世界における暴力とハラスメントを除去する条約』を採択しました。セクハラをなくすには、法律で禁止することが必要です。



日本共産党は、法律にハラスメント禁止を明記し、被害者を救済する独立機関を設置することを提案しています。



写真: Shutterstock/アフロ

## DATA

セクハラに対する刑事罰、民事救済の規定があるか



OECD加盟国でチリ、ハンガリーと日本の3カ国だけが規定なし

世界銀行2018年調査(対象:189カ国・地域)

## INFO

思いきって相談してみませんか

- 全労連(全国労働組合総連合)労働相談ホットライン TEL 0120-378-060
- 法テラス(日本司法支援センター) TEL 0570-078374
- 日本労働弁護団・女性のためのホットライン TEL 03-3251-5364  
(第2・4水曜日 15時~17時)
- 都道府県労働局(厚生労働省の優先機関) 電話番号はホームページで検索してみてください

## 職場のジェンダー平等\_2

Superバリキャリか  
低賃金パートか？

—なんで女性は二者択一？

『女性活躍』が言われ、役職に就く女性も増えてきた。でも、会社から認められるためには男性の2倍も3倍も頑張らなければならない。優秀な若い女性たちが、力尽きてどんどん辞めていく」  
—こんな声が聞こえてきます。

女性が働きやすい職場は、男性も働きやすい。自由な時間や家族との時間をちゃんと持てる、人間らしい働き方ができる社会をつくりたい。

そして働く人全体の賃金アップを！ 最低賃金を1500円に引き上げれば、非正規雇用が多い女性と若者の暮らしのボトムアップにつながります。

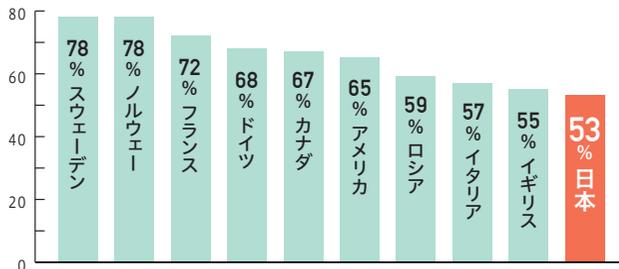
日本共産党は、「8時間働けばふつうに暮らせる社会」を提案しています。

日本共産党の政策  
くわしくはこちら



## DATA

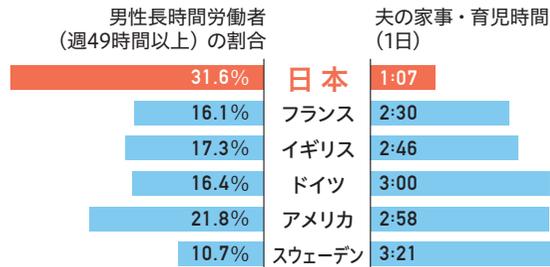
日本の女性の所得は男性の半分  
主な国の男性の所得に対する女性の所得割合



世界経済フォーラム「グローバルジェンダーギャップレポート2018年版」

## DATA

男性の長時間労働と家事時間



ILOデータベース

6歳未満児をもつ夫の家事・育児時間  
『少子化社会白書』2015年度版



誰もが自分らしく暮らせたなら。

interview  2

湊 隆介さん  
1983年生まれ

ゲイであることを自認したのは、中学1年ごろ。「エヴァンゲリオン」の中に、主人公とキャラクターの男の子の同性愛っぽいシーンがあるんです。それを見たときに、こういうことってあるんだなと思って、同性愛という概念を知りました。それから自分の**恋愛対象が女性じゃない**ことに気づいた。

ゲイであることを初めて伝えたのは、高校時代の女性の友だち。わりとすんなり受け止めてくれました。でも、打ち明けるまでの3、4年は、誰かに思いを伝えても伝わらないだろうなというつらさがありましたね。親に伝えられたのは、いまから10年くらい前。幸い私の親は理解してくれているけど、そうじゃない人たちもたくさんいる。だからこそ、政治がしっかり制度を整えてほしい。それによって社会の意識が変わり、**LGBTについての理解**も広がるようになると思うんです。

ゲイのひとりとして、個人より国が大事にされる社会になったら生きづらいだろうなという懸念もっています。だから、LGBT差別だけじゃなくすべての差別を許さず、**一人ひとりを大切に**する政治をめざしている日本共産党を信頼しています。

## LGBT/SOGI

— 性のあり方は十人十色

SOGI (ソジ) とは、セクシュアル・オリエンテーション(性的指向)とジェンダー・アイデンティティ(性自認)の頭文字からつくられた言葉。性的少数者の人も、異性愛者の人も、すべての人の多様な性のあり方を認めあおうという意味で使われています。

誰もが個人の尊厳を大事にされ、自分らしく生きられる社会をつくりましょう。

## 婚姻の平等

2019年6月4日、共産党を含む野党3党が、性的指向にかかわらず、平等に婚姻が認められる「婚姻の平等」を実現する法案を国会に提出しました。



法律の中に残る  
女性差別、  
ぜんぶ変えよう

## 結婚しても名字を変えたくない人もいる

夫婦同姓を法律で義務づけている国は世界で日本だけ。結婚時に女性が改姓する例が96%です。同姓にするか、別姓にするかを自分たちで決める——日本共産党は、「選択的夫婦別姓」を実現する民法改正をすみやかに行うよう求めています。

## 痴漢、DV、性犯罪

— 女性への暴力を許さない社会へ

「女性がそんなに痴漢に遭っているなんて知らなかった」——男性からそんな言葉を聞くと、ビックリします。電車の中で、路上で、雑踏で、ほとんどの女性は一度ならず被害を経験しています。

痴漢も性暴力のひとつ。女性が暴力やハラスメントにおびえなくていい社会をつくりませんか。

## 刑法の性犯罪規定の改正を

現行法では「同意のない」性交＝強制的性交であっても、被害者が拒否できないほどの「暴行・脅迫」があった、もしくは、酒や薬、精神的支配などにより抵抗できない「抗拒不能」の状態にあったと認められなければ、犯罪になりません。

日本共産党は、暴行・脅迫要件の撤廃と同意要件の新設をはじめ、性暴力の根絶につながる刑法の抜本的改正を求めています。

# We will Fight and Walk with You

日本共産党はこんな政党です

女性議員の数が  
トップ!

「立党の精神」  
困っている人を  
ひとりにしない

日本共産党を  
のばしてください  
#JCP With Youチーム

LGBTの問題に  
早くから  
取り組んできた

「議員中心  
じゃないよ」  
“普通の人”  
“多様な人”の  
集まりです

職場での女性差別と  
たたかってきた  
カッコイイ先輩がいる

## VOICE

作家・北原みりさんの「日本共産党」評  
「フツーに女性が半数近くいて、女性にフレッシュさを求めている。若くても貫禄ある女性が多くて面白い。女性が普通にいる、というのはこういうことなのかもしれない。こういう感じ、各政党目指してほしい。」

発行 / 日本共産党中央委員会

〒151-8586  
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7  
TEL 03-3403-6111

#JCP With You  
webサイトはこちら

